



早期高糖で株出し栽培向き

農林12号 Ni12 (旧系統名KY87-110)

【栽培適地】鹿児島県熊毛地域(種子島)

農林12号(Ni12)は、1998年(平成10年)に命名登録、同年、鹿児島県の奨励品種に採用されました。早期高糖性と株出しでの安定多収を特徴とする品種です。



左:剥葉前の茎
右:剥葉し、日光にさらされた茎



左:剥葉前の芽子
右:剥葉し、日光にさらされた芽子



立毛状態

来歴組合せ NiF3の自然受粉

Ni12は、九州沖縄農業研究センターさとうきび育種研究室が育成した品種です。1985年(昭和60年)に沖縄県石垣島においてNiF3(農林3号)を母本とする自然交雑種子を得て、実生を養成しました。以後、特に早期高糖性に注目して選抜を重ねて育成しました。

重要特性

- ・NCo310やNiF8よりも糖度の上昇が早く、早期に収穫できる。
- ・収量はNCo310と比較して安定して多く、12月収穫における可製糖量は、NCo310、NiF8と比較して多い。

■育成地(種子島)における春植え12月収穫の特性

	原料茎数(本/a)	一茎重(g)	原料茎重(kg/a)	ブリックス(%)	総糖分(%)	甘蔗糖度(%)	可製糖量(kg/a)
Ni12	813 [92]	882 [112]	708 [102]	17.6 [106]	11.0 [105]	13.0 [112]	87 [115]
NCo310	1101	614	672	15.7	11.2	10.5	64.2
NiF8	888	785	695	16.6	10.5	11.6	75.6

※[]内はNiF8を100とした場合の比率。

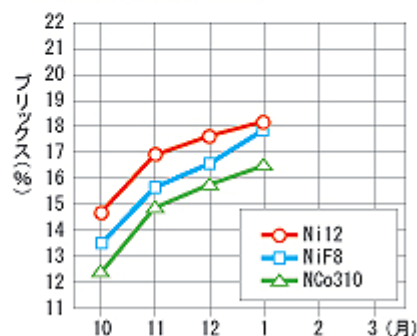
■病害抵抗性

	黒穂病	モザイク病	葉焼け病	さび病	葉片赤斑病
Ni12	中	中	やや強	強	中
NCo310	弱	弱	中	弱	弱
NiF8	強	強	強	強	強

■その他、主要な生態的特性

	発芽性	分けつ性	萌芽性	出穂性	風折抵抗性	収業性
Ni12	良	やや弱	極良	少	中	難
NCo310	中	中	中	多	強	難
NiF8	良	中	良	多	強	易

■Ni12のブリックスの上昇 (育成地における春植え)



※Ni12のブリックスはNCo310、NiF8よりも高く、早期から上昇。

栽培上の注意



- 春植えの発芽、株出し栽培における萌芽ともに良好です。
- 早期から糖度、純糖率ともに高く、12月の収穫にも適します。
- 直立性で茎の均一性が良好なために機械収穫に適します。脱葉性は「難」です。
- 風折抵抗性はNCo310、NiF8よりも弱く、早期の台風で茎がよく折れることがあります。風折害の発生しやすい圃場での栽培は控えましょう。

Ni12の形態的特性

葉長はNCo310と比較してやや短い。茎はNCo310よりもやや太い。

■葉身・葉鞘関連形質

	草型	葉身長	葉幅	葉色	葉鞘長	葉耳	毛群	ろう物質	花青素(葉鞘)
Ni12	水平	やや短	中	中	短	直下降	微	やや多	淡紫
NCo310	中葉	中	中	中	中	上昇下降	無	中	無
NiF8	立葉	中	広	濃	中	三角形	無	中	極淡紫

■茎関連形質

	莖葉の形態	莖色		葉長	葉径	亀裂	ろう物質	芽子の形	芽翼	芽子突出度	芽溝
		基本色	複合色								
Ni12	円筒	黄緑	淡紅	中	やや細	無	極多	卵円	中	やや凸	浅
NCo310	円筒	黄緑	褐	中	細	小	多	円	やや広	やや凸	無
NiF8	円筒	黄緑	淡紫	やや長	中	無	極多	円	中	凸	無



- 他品種と比べて葉長、葉鞘長ともに短く、葉がやや垂れているようにみえます。
- 他品種と比べて葉鞘の花青素が強い。
- 茎の蠟物質が極めて多く、日光に曝された茎はやや鮮やかな淡紅となります。
- 芽子は卵円形ですが、頂点がやや尖り、ひし形に見えることが多い。